



平成25年4月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年2月27日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 ラクーン

コード番号 3031 URL <http://www.raccoon.ne.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 小方 功

問合せ先責任者 (役職名) 取締役財務担当副社長

(氏名) 今野 智

TEL 03-5652-1711

四半期報告書提出予定日 平成25年3月15日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年4月期第3四半期の連結業績(平成24年5月1日～平成25年1月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年4月期第3四半期	7,244	8.0	133	23.3	129	26.8	77	△13.5
24年4月期第3四半期	6,709	12.3	108	11.5	102	12.1	89	8.5

(注) 包括利益 25年4月期第3四半期 78百万円 (△10.7%) 24年4月期第3四半期 88百万円 (8.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
25年4月期第3四半期	4,268.17	4,157.58
24年4月期第3四半期	4,933.08	4,769.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円銭
25年4月期第3四半期	2,497	1,287	51.5	70,829.13
24年4月期	2,628	1,227	46.6	67,498.40

(参考) 自己資本 25年4月期第3四半期 1,286百万円 24年4月期 1,225百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円銭	円銭	円銭	円銭	円銭
24年4月期	—	0.00	—	1,000.00	1,000.00
25年4月期	—	0.00	—	—	—
25年4月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 現時点において、平成25年4月期末の配当予想は未定であります。

3. 平成25年4月期の連結業績予想(平成24年5月1日～平成25年4月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	10,000	9.9	160	14.3	150	12.8	110	0.9	6,056.60
	～10,300	～13.2	～170	～21.4	～160	～20.3	～120	～10.1	～6,607.20

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年4月期3Q	18,162 株	24年4月期	18,162 株
----------	----------	--------	----------

② 期末自己株式数

25年4月期3Q	— 株	24年4月期	— 株
----------	-----	--------	-----

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年4月期3Q	18,162 株	24年4月期3Q	18,162 株
----------	----------	----------	----------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融法商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8
(5) セグメント情報等	8
(6) 重要な後発事象	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間における我が国経済は、欧州政府の債務危機の長期化や中国をはじめとする新興国の経済成長の鈍化等を背景として、世界経済は依然として先行き不透明な状態で推移しておりますが、国内は復興関連需要を背景とした緩やかな傾向が続いており、また、政権交代に伴う経済政策への期待から円安、株価の上昇など明るい兆しも見られるようになってまいりました。

このような状況の中、当社グループは、「利便性、専門性、先進性を追求した今までにない企業間取引のインフラを創造する」ことをグループビジョンとして掲げ、EC事業と売掛債権保証事業の事業規模の拡大に努めてまいりました。その結果、当第3四半期連結累計期間における売上高は7,244,719千円（前年同期比8.0%増）となりました。

利益面におきましては、平成24年10月9日に本社を移転したことで本社移転費用32,887千円を特別損失に計上しておりますが、一方で移転により家賃が下がったことで地代家賃が減少したことなどにより販売費及び一般管理費が抑制されました。この結果、営業利益133,308千円（前年同期比23.3%増）、経常利益129,657千円（前年同期比26.8%増）、四半期純利益77,518千円（前年同期比13.5%減）となりました。

セグメントごとの業績は、次のとおりであります。

①EC事業

EC事業におきましては、主力事業である「スーパーデリバリー」において、引き続き質の高い会員小売店及び出展企業を獲得した上で、客単価や稼働率の向上を図り、両者の継続した取引を拡大することで商品売上高を増加させていくことに取り組んでおります。これにより、商品売上高は6,596,039千円（前年同期比7.6%増）となりました。

また、「スーパーデリバリー」では現在、会員の事業運営に必要な様々なサービスを提供する企業との連携に積極的に取り組んでおります。外部の充実したサービスを上手く「スーパーデリバリー」に取り込むことで、出展企業、会員小売店、外部サービス提供企業といった各参加ユーザーが、それぞれの強みを生かしあい単独では作り出せない新たな価値を生み出す流通ネットワークへと進化を図ってまいります。

出展企業については、小売店のニーズに適合した企業の獲得に注力する一方で、小売店ニーズとの適合性が低く売上増加が見込めない企業に対しては出展契約の見直しを行っております。

なお、当第3四半期連結会計期間末における「スーパーデリバリー」の経営指標は会員小売店数35,314店舗（前期末比2,409店舗増）、出展企業数982社（前期末比15社減）、商材掲載数361,000点（前期末比40,670点増）となりました。

一方、「Paid」におきましては、引き続き知名度の向上及び加盟企業とPaidメンバーの獲得に注力するとともに、獲得した加盟企業とPaidメンバーのフォローにも努めました。また、企業間取引や卸売サイトの運営会社等と「Paidカート連携サービス」導入の業務提携にも注力しており、平成24年12月にはGMOインターネットグループのGMOメイクショップ株式会社の運営するネットショップ構築サービス「MakeShop」への提供を開始しております。

この結果、EC事業の売上高は7,053,900千円（前年同期比7.3%増）、セグメント利益は102,791千円（前年同期比40.8%増）となりました。

②売掛債権保証事業

売掛債権保証事業におきましては、引き続き営業力強化に取り組み、特に既存企業の稼働率の向上に努め、当第3四半期連結会計期間末における保証残高は3,536,995千円（前期末比43.7%増）となりました。その結果、売掛債権保証事業の売上高は275,484千円（前年同期比30.1%増）になりましたが、セグメント利益は営業力強化のため先行投資的に人員を増加したことで13,774千円（前年同期比44.9%減）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末より131,233千円減少して2,497,607千円になりました。流動資産は160,391千円減少して2,110,999千円になりました。減少の主な要因は売掛金が132,023千円減少したことによるものです。固定資産は29,157千円増加して386,607千円になりました。増加の主な要因は本社移転により敷金及び保証金が17,136千円減少した一方で、ソフトウェア仮勘定が53,875千円増加したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の総負債は、前連結会計年度末より191,713千円減少して1,209,929千円になりました。流動負債は118,269千円減少して1,037,705千円になりました。減少の主な要因は買掛金が62,438千円減少した

ことと、1年内返済予定の長期借入金が返済により59,850千円減少したことによるものです。固定負債は73,444千円減少して172,223千円になりました。減少の主な要因は長期借入金が返済により71,993千円減少したことによるものです。

当第3四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末より60,479千円増加して1,287,678千円になりました。増加の主な要因は四半期純利益77,518千円の計上により利益剰余金が増加したことによるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

連結業績予想につきましては概ね予想通りに推移していることから、現時点においては平成24年6月8日公表時より変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

連結子会社の税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

当社及び連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年5月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

これにより損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	835,614	818,202
売掛金	1,222,525	1,090,502
求償債権	27,099	27,307
たな卸資産	1,085	887
繰延税金資産	132,732	132,732
その他	62,081	50,479
貸倒引当金	△9,749	△9,112
流動資産合計	2,271,391	2,110,999
固定資産		
有形固定資産		
建物	18,394	16,989
減価償却累計額	△11,434	△7,943
建物(純額)	6,959	9,046
車両運搬具	1,419	1,419
減価償却累計額	△1,419	△1,419
車両運搬具(純額)	0	0
工具、器具及び備品	17,841	18,473
減価償却累計額	△12,394	△8,064
工具、器具及び備品(純額)	5,446	10,409
有形固定資産合計	12,405	19,455
無形固定資産		
ソフトウェア	153,756	145,339
ソフトウェア仮勘定	19,916	73,791
のれん	83,430	76,140
その他	939	878
無形固定資産合計	258,042	296,150
投資その他の資産		
投資有価証券	10,145	11,281
敷金及び保証金	57,335	40,198
繰延税金資産	19,448	19,448
その他	72	72
投資その他の資産合計	87,001	71,001
固定資産合計	357,450	386,607
資産合計	2,628,841	2,497,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年4月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	791,632	729,193
1年内返済予定の長期借入金	162,274	102,424
未払金	42,655	34,079
未払法人税等	5,751	21,273
保証履行引当金	23,714	33,155
賞与引当金	23,117	12,199
販売促進引当金	20,880	18,000
その他	85,950	87,380
流動負債合計	1,155,974	1,037,705
固定負債		
転換社債型新株予約権付社債	99,000	99,000
長期借入金	138,494	66,501
資産除去債務	2,567	1,709
その他	5,605	5,012
固定負債合計	245,667	172,223
負債合計	1,401,642	1,209,929
純資産の部		
株主資本		
資本金	744,900	744,900
資本剰余金	132,372	132,372
利益剰余金	349,516	408,873
株主資本合計	1,226,788	1,286,145
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△882	253
その他の包括利益累計額合計	△882	253
新株予約権	1,292	1,280
純資産合計	1,227,198	1,287,678
負債純資産合計	2,628,841	2,497,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
売上高	6,709,335	7,244,719
売上原価	5,605,965	6,043,596
売上総利益	1,103,369	1,201,122
販売費及び一般管理費	995,227	1,067,813
営業利益	108,142	133,308
営業外収益		
受取利息及び配当金	858	593
受取手数料	4,704	4,062
その他	431	1,150
営業外収益合計	5,994	5,806
営業外費用		
支払利息	5,123	3,552
社債利息	5,597	5,612
その他	1,164	292
営業外費用合計	11,886	9,457
経常利益	102,250	129,657
特別損失		
本社移転費用	—	32,887
固定資産除却損	1,753	—
災害による損失	197	—
特別損失合計	1,950	32,887
税金等調整前四半期純利益	100,299	96,770
法人税等	4,869	19,252
過年度法人税等	5,835	—
法人税等合計	10,704	19,252
少数株主損益調整前四半期純利益	89,594	77,518
四半期純利益	89,594	77,518

(四半期連結包括利益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年5月1日 至平成24年1月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年5月1日 至平成25年1月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	89,594	77,518
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△1,560	1,136
その他の包括利益合計	△1,560	1,136
四半期包括利益	88,033	78,654
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	88,033	78,654
少数株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報等
(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成23年5月1日至平成24年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	6,572,055	137,279	6,709,335	—	6,709,335
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	74,504	74,504	△74,504	—
計	6,572,055	211,784	6,783,840	△74,504	6,709,335
セグメント利益	73,002	24,997	98,000	10,142	108,142

(注) 1. セグメント利益の調整額10,142千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成24年5月1日至平成25年1月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	EC事業	売掛債権 保証事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	7,053,900	190,818	7,244,719	—	7,244,719
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	84,665	84,665	△84,665	—
計	7,053,900	275,484	7,329,385	△84,665	7,244,719
セグメント利益	102,791	13,774	116,565	16,743	133,308

(注) 1. セグメント利益の調整額16,743千円は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する事項
該当事項はありません。

(6) 重要な後発事象
該当事項はありません。